

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成23年4月7日(2011.4.7)

【公開番号】特開2008-94805(P2008-94805A)

【公開日】平成20年4月24日(2008.4.24)

【年通号数】公開・登録公報2008-016

【出願番号】特願2006-281218(P2006-281218)

【国際特許分類】

C 07 C 67/08 (2006.01)

A 23 L 1/20 (2006.01)

C 07 C 69/73 (2006.01)

B 01 F 17/42 (2006.01)

【F I】

C 07 C 67/08

A 23 L 1/20 106 A

C 07 C 69/73

B 01 F 17/42

【手続補正書】

【提出日】平成23年2月18日(2011.2.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

リシノール酸を重縮合反応させて縮合リシノール酸を得る工程(I)と、工程(I)で得られた縮合リシノール酸とポリグリセリンとをエステル化反応させる工程(II)とを有するポリグリセリン縮合リシノール酸エステルの製造方法であって、工程(I)で得られる縮合リシノール酸が、下記式(1)から求められる高分子量比が1以上の縮合リシノール酸である、ポリグリセリン縮合リシノール酸エステルの製造方法。

高分子量比 = S1 / S2 式(1)

S1: 縮合リシノール酸のゲル・パーミエーション・クロマトグラフィーによるポリスチレン換算分子量分布における分子量が2000以上に相当するピーク面積

S2: 縮合リシノール酸のゲル・パーミエーション・クロマトグラフィーによるポリスチレン換算分子量分布における分子量が100以上2000未満に相当するピーク面積

【請求項2】

工程(I)でのリシノール酸の重縮合反応の反応時間が2~20時間である請求項1記載のポリグリセリン縮合リシノール酸エステルの製造方法。

【請求項3】

ポリグリセリン縮合リシノール酸エステルが、豆腐用凝固剤の乳化剤用である請求項1又は2記載のポリグリセリン縮合リシノール酸エステルの製造方法。